

もしも、のために知っていただきたいこと

- 定期的予防接種による副反応のために、医療機関で治療が必要になったり、生活が不自由になったりしたとき(健康被害)は、法律に定められた救済制度(健康被害救済制度)があります。
- 制度の利用を申しこむときは、お住まいの市町村にご相談ください(制度を利用するためには、一定の条件があります)。

※詳細は、厚生労働省HPをごらんください。「予防接種 救済制度」で検索できます。



#01
Hib
ワクチンのはなし

シリーズ の ご紹介

このリーフレットは、法律ですすめられている定期接種のうち日本脳炎ワクチンを「きょう」接種するお子さんと、その保護者のみなさまのために、かならず知って置いていただきたい内容をまとめたものです。そのほかの定期接種についてまとめたシリーズと、あわせてお読みください。



#02
小児の肺炎球菌
ワクチンのはなし



#03
DPT-IPV
ワクチンのはなし



#04
BCG
ワクチンのはなし



#05
MR
ワクチンのはなし



#06
日本脳炎
ワクチンのはなし

各リーフレットは、厚生労働省HPおよび予防接種リサーチセンター HPからダウンロードできます。「予防接種 リーフレット」で検索できます。

くわしくは
「予防接種と子どもの健康」
(発行：公益財団法人予防接種リサーチセンター)

をごらん
ください。



医療機関名

きょう

きょう 予防接種をうける
お子さんと、保護者のみなさまへ

日本脳炎ワクチンのはなし



#06

日本脳炎 ワクチン

きょうの予防接種を安心してうけていただくために

#06 日本脳炎ワクチンのはなし

父親も
ワクチンについて
知っとかない!



- お子さんの体調はよいか、熱があつたり、ふだんと変わったところはないか確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談しましょう。質問をメモしておく伝えやすくなります。
- 母子健康手帳はかならずもっていきましょう。

1

当日は
ココをチェック



- 小さなお子さんは動かないように、しっかりと抱っこしてあげてください。保護者のみなさまがリラックスすると、お子さんも安心します。
- 注射で泣くお子さんは多いもの。大切な予防接種が苦手にならないように、がんばったことをほめてあげるなど、保護者のみなさまの工夫がカギです。

2

ワクチンを
接種するときの
ポイント

- 接種直後、30分くらいはすぐ対応してもらえるように、医療機関のなかでお子さんの様子を見てあげるか、すぐに医師と連絡がとれるようにしてください。この間に急な体の変化がおこることがあります。
- 帰宅後もはげしく体を動かすことはさせ、接種個所をきれいに保ってあげましょう。
- お風呂には入れてもかまいませんが、接種個所をこすらないでください。



予防接種をうけたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録となります。母子健康手帳は大切にとっておきましょう。

おこるかもしれない体の変化(副反応)

- ◆日本脳炎ワクチンを接種した後、熱がでたり、せきや鼻水がでたりします。
 - ◆接種個所が赤くなることがあります。
 - ◆きわめてまれにアナフィラキシー¹⁾、急性散在性脳脊髄炎²⁾、けいれん、血小板減少性紫斑病³⁾、脳炎などの重い病気にかかることもあるといわれています。
- 1) アナフィラキシー：急激なアレルギーにより、じんましんがでたり呼吸が苦しくなったりします。
2) 急性散在性脳脊髄炎：アレルギーにより脳や脊髄に炎症がおこる病気です。熱がでる、頭が重い、けいれんがおこる、意識がはっきりしないなどの症状がみられます。
3) 血小板減少性紫斑病：かさぶたをつくる働きの血小板の数が少なくなって、出血しやすくなってしまいます。皮膚の下で出血して青あざがでたり、歯ぐきから血がでたりします。

○予防接種をうけた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師に相談してください。

3

接種後の
注意